

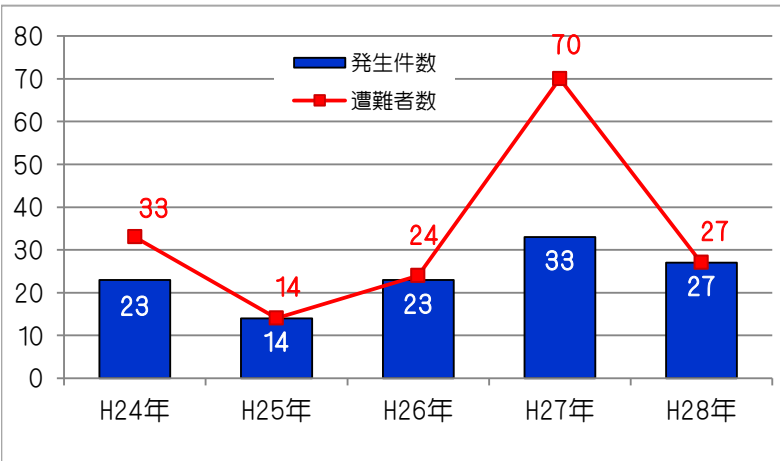
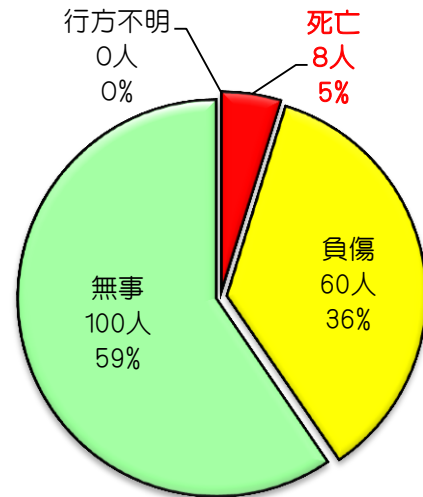
夏山シーズンにおける山岳遭難発生状況(北海道)

(夏山シーズンは、毎年7月から8月までの間)

夏山遭難発生状況(過去5年夏山シーズン)

	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	計
発生件数	23	14	23	33	27	120
遭難者数	33	14	24	70	27	168
死亡	1	1	1	2	3	8
負傷	8	8	12	18	14	60
無事	24	5	11	50	10	100
行方不明	0	0	0	0	0	0

遭難者の態様別



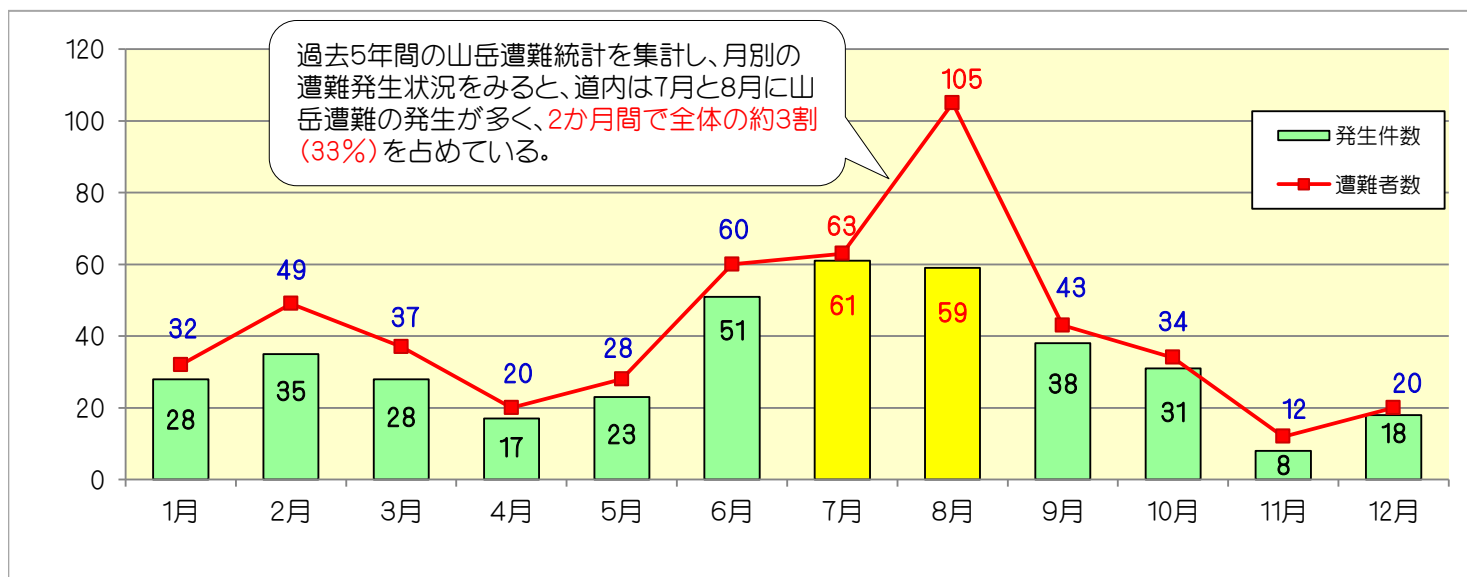
過去5年の夏山シーズン中に道内で発生した山岳遭難の発生件数は120件、遭難者数は168人(平成28年の発生は、前年比-6件)
 平成27年夏山シーズンに遭難者数が70人に急増している理由は、富良野岳で34人パーティーが豪雨による増水で遭難した事案があったため。

月別遭難発生件数(過去5年間)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成24年	2	2	2	4	3	7	11	12	8	8	1	4	64
平成25年	3	5	4	2	4	16	9	5	6	4	2	0	60
平成26年	1	3	1	1	2	7	7	16	5	6	4	1	54
平成27年	5	7	6	7	5	13	16	17	9	9	0	6	100
平成28年	17	18	15	3	9	8	18	9	10	4	1	7	119
計	28	35	28	17	23	51	61	59	38	31	8	18	397

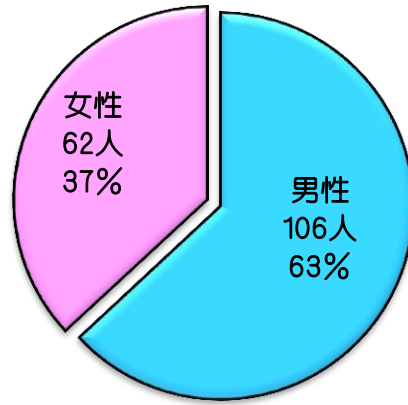
月別遭難者数(過去5年間)

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成24年	2	3	4	5	3	8	13	20	10	9	1	5	83
平成25年	3	8	5	2	7	18	9	5	6	4	6	0	73
平成26年	1	3	1	1	2	9	7	17	6	7	4	1	59
平成27年	5	13	8	8	6	14	16	54	10	10	0	7	151
平成28年	21	22	19	4	10	11	18	9	11	4	1	7	137
計	32	49	37	20	28	60	63	105	43	34	12	20	503



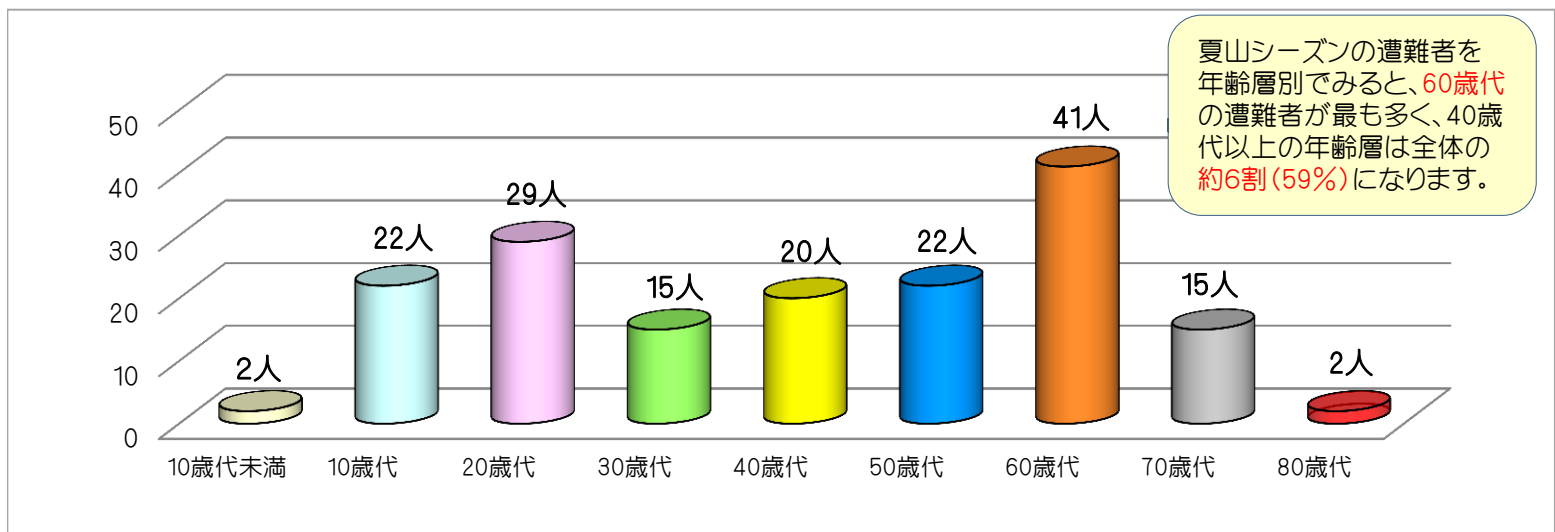
□ 遭難者の男女別(過去5年夏山シーズン)

年	男性	女性	計
平成24年	17	16	33
平成25年	9	5	14
平成26年	16	8	24
平成27年	44	26	70
平成28年	20	7	27
計	106	62	168



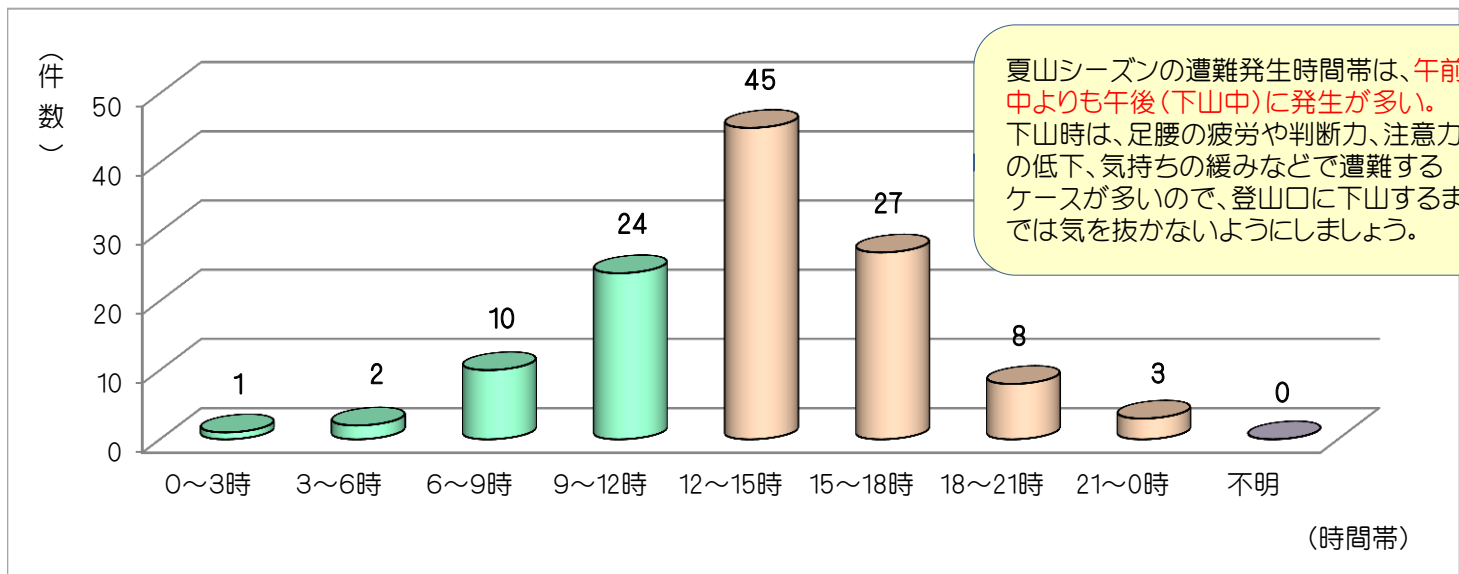
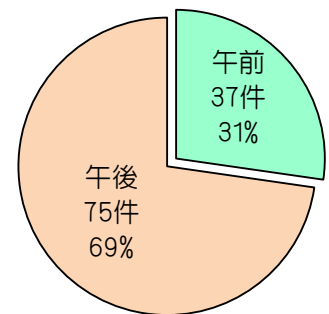
□ 遭難者の年齢層別(過去5年夏山シーズン)

年	10歳代未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	計
平成24年	0	1	8	2	2	6	10	4	0	33
平成25年	1	0	2	2	2	3	1	3	0	14
平成26年	1	0	2	3	4	5	7	2	0	24
平成27年	0	20	14	6	9	6	13	2	0	70
平成28年	0	1	3	2	3	2	10	4	2	27
計	2	22	29	15	20	22	41	15	2	168



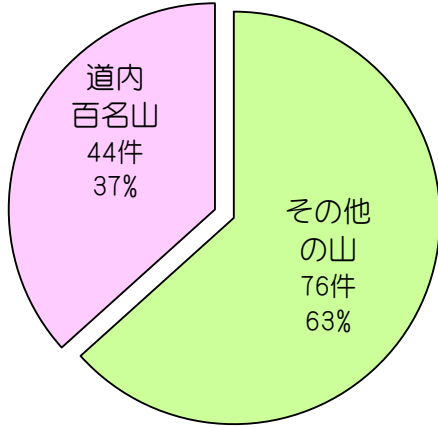
□ 遭難発生時間帯(過去5年夏山シーズン) ※件数

年	0~3時	3~6時	6~9時	9~12時	12~15時	15~18時	18~21時	21~0時	不明	計
平成24年	0	2	3	3	10	4	1	0	0	23
平成25年	0	0	1	3	5	2	2	1	0	14
平成26年	0	0	4	4	9	6	0	0	0	23
平成27年	1	0	2	6	14	6	4	0	0	33
平成28年	0	0	0	8	7	9	1	2	0	27
計	1	2	10	24	45	27	8	3	0	120



□ 北海道内の日本百名山(9山)遭難発生件数(過去5年夏山シーズン)

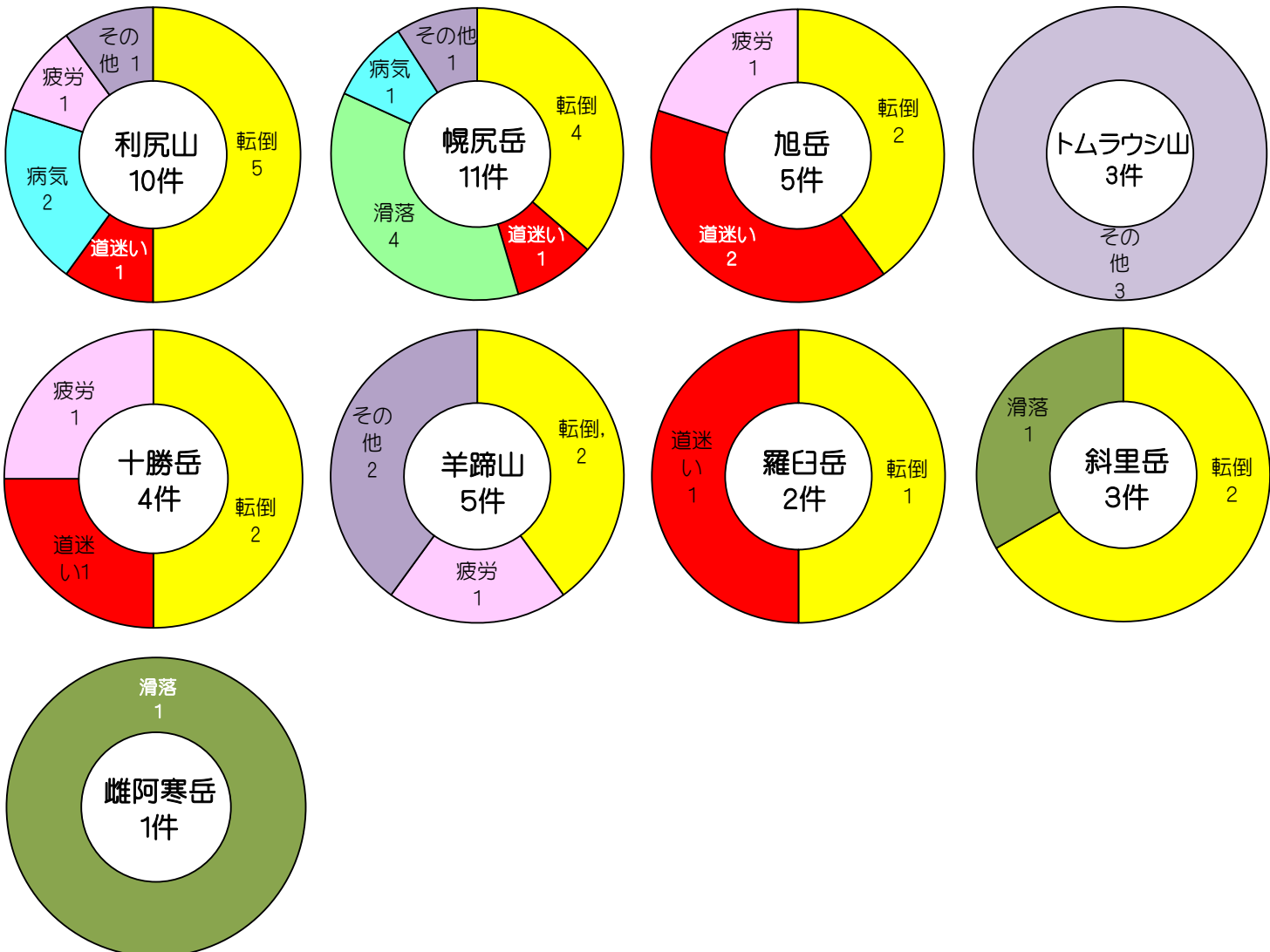
年	利尻山	幌尻岳	旭岳	トムラウシ山	十勝岳	羊蹄山	羅臼岳	斜里岳	雌阿寒岳	その他の山	合計
平成24年	4	3	1	1	1	1	0	1	0	11	23
平成25年	1	0	0	0	1	0	0	0	0	12	14
平成26年	2	2	1	0	1	0	1	0	0	16	23
平成27年	2	4	3	1	0	3	0	0	0	20	33
平成28年	1	2	0	1	1	1	1	2	1	17	27
計	10	11	5	3	4	5	2	3	1	76	120



北海道は、標高が高い山々の雪が解ける7月、8月が夏山シーズンであり、この時期に日本百名山(9山)に登る登山者が多くなる。
 道内にある日本百名山(9山)のうち、登山道に火山灰や岩れきが多い旭岳や利尻山では足元が滑りやすく、転倒に注意が必要です。
 沢登りコースのある幌尻岳では、降雨による増水のほか、急斜面における滑落、転倒に十分注意して下さい。
 過去5年の夏山シーズンには、利尻山と幌尻岳において10件以上の山岳遭難が発生しています。

□ 北海道内の日本百名山(9山)で発生した遭難の原因(過去5年夏山シーズン) ※件数

遭難原因	利尻山	幌尻岳	旭岳	トムラウシ山	十勝岳	羊蹄山	羅臼岳	斜里岳	雌阿寒岳	合計
転倒	5	4	2	0	2	2	1	2	0	18
道迷い	1	1	2	0	1	0	1	0	0	6
滑落	0	4	0	0	0	0	0	1	1	6
病気	2	1	0	0	0	0	0	0	0	3
疲労	1	0	1	0	1	1	0	0	0	4
悪天候	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	1	1	0	3	0	2	0	0	0	7
不明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	10	11	5	3	4	5	2	3	1	44

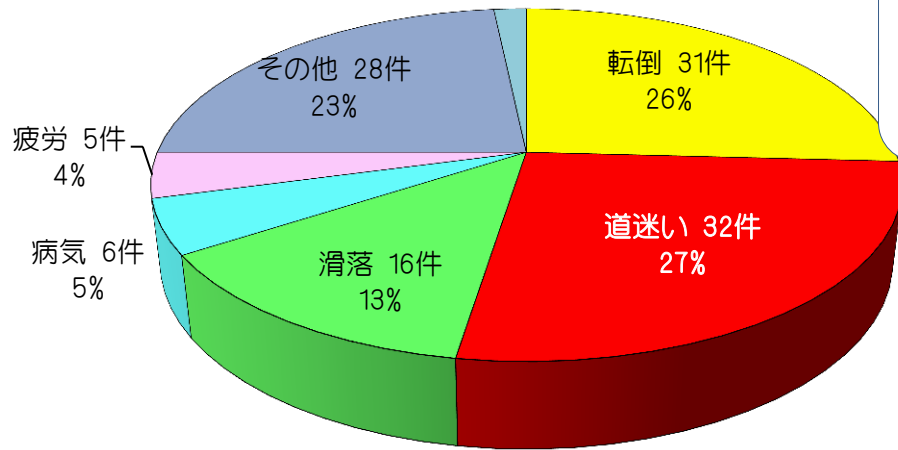


□ 遭難原因別発生件数(過去5年夏山シーズン)

年	転倒	道迷い	滑落	病気	疲労	悪天候	その他	不明	計	その他内訳
平成24年	6	8	0	2	2	0	5	0	23	脱水症、体調不良、雪渓上行動不能、増水
平成25年	4	4	3	0	1	0	2	0	14	熱中症、木と木の間に足を挟める
平成26年	8	7	4	2	0	0	2	0	23	体調不良、低体温症
平成27年	8	7	4	0	2	0	12	0	33	体調不良、低体温症、脱水症、蜂刺、装備不備、増水など
平成28年	5	6	5	2	0	0	7	2	27	体調不良、脱水症、痙攣など
計	31	32	16	6	5	0	28	2	120	

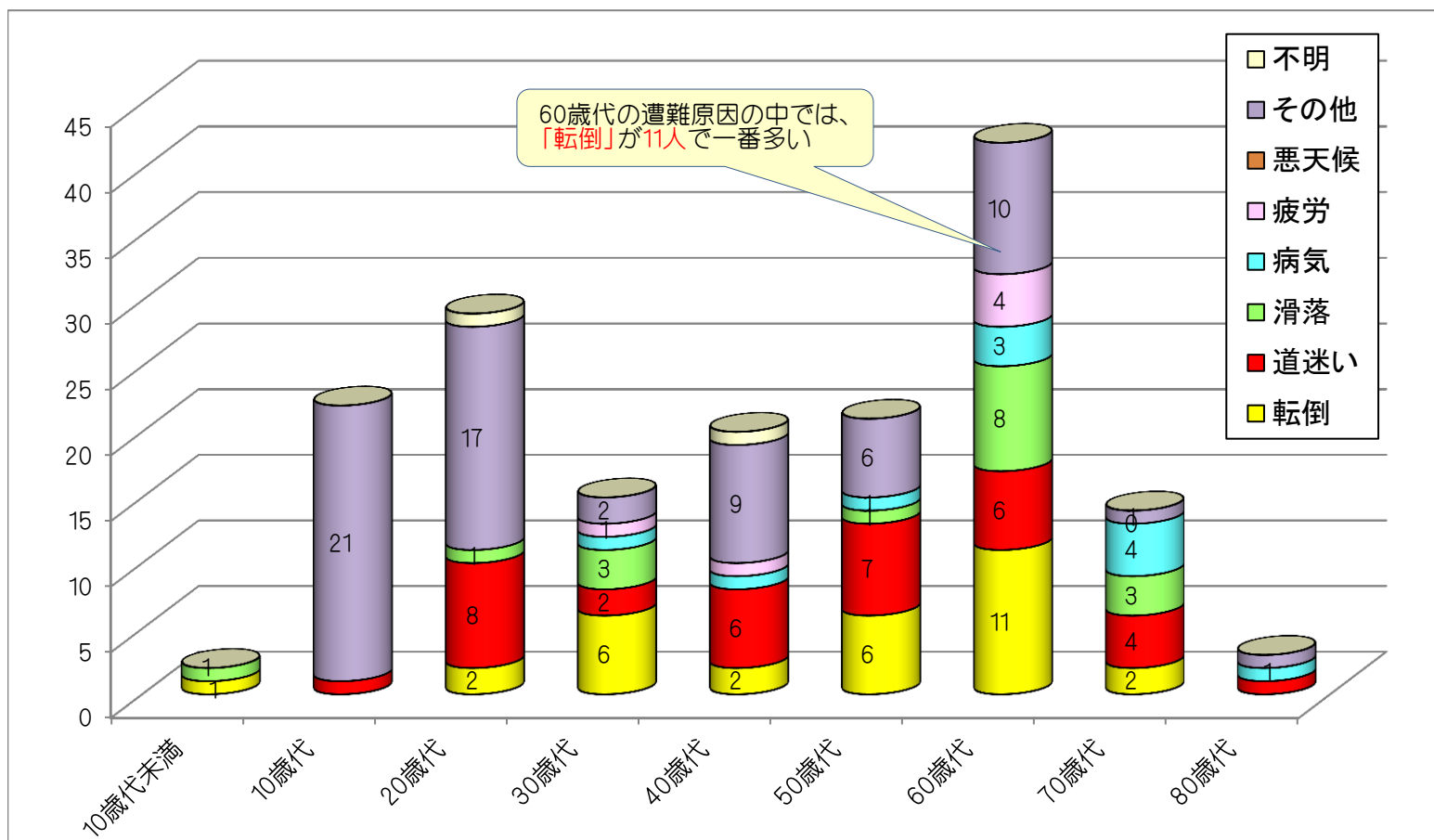
夏山シーズンにおける遭難原因上位

- 第1位 「道迷い」(32件)、
- 第2位 「転倒」(31件)
- 第3位 「その他」(28件)



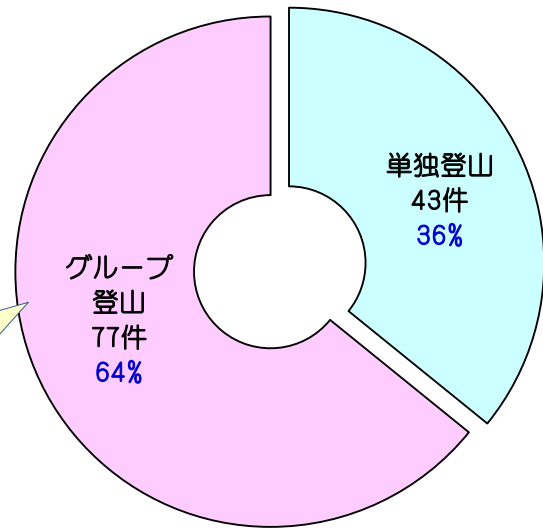
□ 年齢層別遭難原因(過去5年夏山シーズン) ※人数

年齢層	転倒	道迷い	滑落	病気	疲労	悪天候	その他	不明	計
10歳代未満	1	0	1	0	0	0	0	0	2
10歳代	0	1	0	0	0	0	21	0	22
20歳代	2	8	1	0	0	0	17	1	29
30歳代	6	2	3	1	1	0	2	0	15
40歳代	2	6	0	1	1	0	9	1	20
50歳代	6	7	1	1	0	0	6	0	21
60歳代	11	6	8	3	4	0	10	0	42
70歳代	2	4	3	4	0	0	1	0	14
80歳代	0	1	0	1	0	0	1	0	3
計	30	35	17	11	6	0	67	2	168



□ 遭難者の人数構成別(過去5年夏山シーズン) ※件数

年	単独登山	グループ登山	計
平成24年	7	16	23
平成25年	6	8	14
平成26年	8	15	23
平成27年	11	22	33
平成28年	11	16	27
計	43	77	120

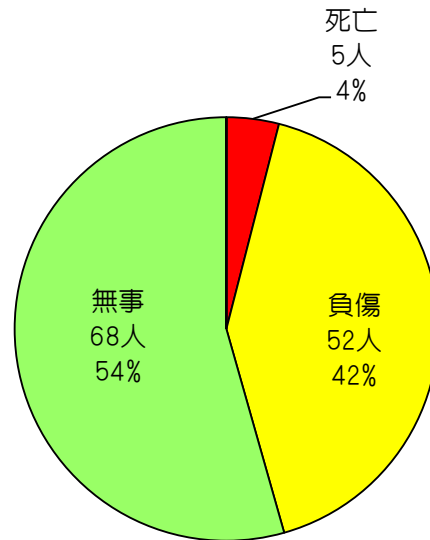
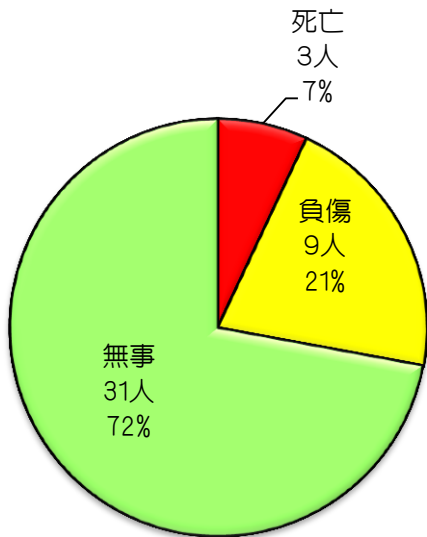


夏山シーズンにおける山岳遭難は、単独入山者よりも複数で行動するグループ登山での発生が多い状況にあります。
グループ登山は、複数で行動するため、自分の体力や体調に応じたペースで登ることが難しく、無理をして登り体調を崩すことがあるので、リーダーはメンバー全員の状態を把握して行動する必要があります。

□ 人数構成別による遭難者の死傷状況(過去5年夏山シーズン)

単独登山(人数)					
年	死亡	負傷	無事	行方不明	計
平成24年	0	0	7	0	7
平成25年	0	2	4	0	6
平成26年	1	2	5	0	8
平成27年	1	1	9	0	11
平成28年	1	4	6	0	11
計	3	9	31	0	43

グループ登山(人数)					
年	死亡	負傷	無事	行方不明	計
平成24年	1	8	17	0	26
平成25年	1	6	1	0	8
平成26年	0	11	5	0	16
平成27年	1	17	41	0	59
平成28年	2	10	4	0	16
計	5	52	68	0	125



□ 遭難者の居住地(過去5年夏山シーズン) ※人数

年	道内	道外	外国	計
平成24年	18	15	0	33
平成25年	8	5	1	14
平成26年	12	12	0	24
平成27年	57	12	1	70
平成28年	15	12	0	27
計	110	56	2	168

